



たもんじ 2024年1月号 交流農園 便り Vol.70



NEXT STAGE

第8回 寺島玉/井まちづくり協議会 理事長

～次に私がしたいこと～ 牛久光次さん “あきらめてたまるか大作戦!?”



たもんじ交流農園のほど近い隅田川沿いに、その昔四代将軍家綱の時代、木母寺の近くに御前栽畑（将軍に献上した甜瓜、茄子、大根などの野菜を栽培）がありました。広重の名所江戸百景「木母寺内川御前栽畑」に、隅田川御殿（絵は料亭植半）とともに内川の対岸に描かれています（図1）。なんと、そのまったく同じ場所が今は、遊休地として空いているのです。雑草だらけの都有地で、消防庁管轄用地（災害時の緊急ヘリポート）ですが（図2）。



図1 木母寺内川御前栽畑

そんな歴史的な場所だからこそ、かつての風光明媚な風景を持つ御前栽畑を復活させて、墨田区だからこそその唯一無二の歴史を背景にした世界に誇る都市型農園を創れたらとどんなに素

敵な場所になるか…。たもんじ交流農園の約16倍の広さがあります。もっと多くの方が農体験を楽しめるのはもちろん、そこには寺島なすをはじめとした江戸野菜の展覧会的なエリアも設けます。すみだの



図3 御前栽畑復活プロジェクト（図：干場晃）

の里となる溪流も流し、そこから水を引けば水田も。緑豊かな里地里山的な環境も体験できるようにします。隅田川御殿を模した数寄屋の小屋も作り、日本古来・江戸の文化を観たり体験したり、観光客も訪れたくなる世界でも類のない都市型農園を我が墨田区に誕生させたい！私たちがたまは御前栽畑復活プロジェクトとして墨田区と東京都に提言すべく昨年一年通して資料づくりを行ってきました（図3）。



図2 現在の住宅地図に江戸時代の地図を重ねてみたもの

しかし、どうもその地を区が都に別用途で要請しているという情報を得て、昨年夏に急ぎ、墨田区長に直接面談し提言しました。区長としてはその別用途の活用の意向が強く、現在御前栽畑復活の実現にはかなり厳しい状況となっています。

私たちは、これで諦める訳にはいきません！もっとまちなかに農園のあることの多くの効能を区民に関係者に実感して貰えるよう、まずは区内各所に大小の農体験の出来る場を広めていく草の根的な活動から進め、それによって広く区民の機運を高めていくことから実現にむけた活動を今年のテーマにしたいと思っています。皆さんの同意を得て、そのためには何をすべきかを皆さんとアイディアを出しあって活動につなげたい！それが、私のNEXT STAGE!!

“てらたま農園部から”

第26回～今年の農園部の活動について～



農園部の活動は、共有区画で寺島なすをはじめとする季節の野菜の栽培と農園内の整備などで、毎週日曜日の午前中に行なっています。

2023年から菌ちゃん農法(無農薬、無肥料の自然農法)の畝で野菜作りを始めていますが、今年は更に菌ちゃん畝を増やすべく、2月に児童館の子供達と畝作りをする予定です。足踏み状態だった入口花壇のナチュラルガーデン造りも、これからピッチを上げていきますので、変化していく様子をお楽しみください。また、昨年末に完成した落ち葉の踏み込み温床では、1月下旬に寺島なすの種を植えることにしており、ポカポカと暖かい踏み込み温床で寺島なすの苗の成長を願い、初めての温床育苗に今からドキドキワクワクしています。

徐々に新しいメンバーも増えています。ご興味のある方ぜひ一度見学にいらしてください。今年もみんなで喜びや楽しみ、ちょっぴり労を分かち合う農園部をよろしくお願ひします！



うちの畑じまん 第36回 区画 1-1 藤田さん



3月から借りさせて頂いて早いもので10ヶ月経ちました。とにかく色々植えてみた〜いという気持ちのまま色々な種を買って漁りました。

江戸野菜というものを初めて知ったので、金町小カブと馬込半白きゅうりを買ってみました。小カブは虫の多い時期でしたが、とても簡単に美味しく育ててくれて大成功でした。半白きゅうりはベランダで苗を育ててから畑に植えましたが、こちら4株がグングンと育ち、少し甘みのある美味しいきゅうりがたくさん収穫出来て嬉しかったです(^)今年もやりたい一つです。

トマトはアイコ・ポンテローザ・さくらんぼトマトの3

種類をやりました。アイコは苗を購入し先に畑に植えたところ勝手にどんどん大きくなり、想像以上にたくさん採れました。ポンテローザとさくらんぼは、ベランダで育苗し、大きくなるのに時間がかかりましたが畑に3株ずつ植えました。ポンテローザは大玉なので、去年の猛暑に強かったのか初めての割に大成功でした。さくらんぼは難しかったです。



四角豆もベランダ育苗後畑コースでやりましたが、沖縄などで食べられる物なのに8月になっても花落ちばかりで、諦めかけていた9月になってやっとたくさん鞘が出来てある意味感動しました。皆さんが上手に育てていた、じゃがいもやオクラが上手く育たなかったため、今年もう少し勉強してから挑みたいと思います。あと寺島ナスもスイカもメロンもすごく頑張ったので書きたかったのですが書ききれません。

たもんじ農園のイベントにも参加させて頂きました。毎回子供達も大喜びでした(*~*) いつもありがとうございます。次の機会もワクワクしています！

野菜の販売会にもまた出してみたいので(ラッピングも楽しいです!) また色々な野菜もがんばってみたいと思います。



12/24(日)納会でお餅つきをやりました!!

12/24 クリスマスイブの日曜日、たもんじ交流農園では納会が開かれ、皆さんでお餅つきをやりました。温床(苗床)も完成しました。来年の寺島なすの成長をおいのりしながら、皆さんで落ち葉を踏み踏みしました。続いてはお楽しみのお餅つき! 餅つき名人に見習って、初めてお餅をつく方もみんな大喜び。とれたて野菜の味噌汁と合わせ、つきたてのお餅の美味しいこと。今後はたもんじ交流農園の年末恒例行事になるかもと誰もが思った一日となりました。



扉を取付け。皆で葉っぱを踏み お子様から最高齢者まで代わる代わるのお餅をつく 完成した温床の前で。ロンドンからかけつけたあの人の姿も。

1/7(日)隅田川七福神巡いを開催、38名が参加!!



1/7の良く晴れた日曜日、14時半に多聞寺をスタートし、水神大橋の手前木母寺横の御前栽畑跡地を見て頂き、白鬚神社、百花園で一休みの後、長命寺、弘福寺と廻り、三田神社さんに着く頃には既に宵闇に包まれたのですが、牛嶋神

社に足を伸ばし、竹あかりを鑑賞するオプション!

一番の推しは、「御前栽畑プロジェクト」の現地を見て貰うことで、「世界に誇る都市型農園墨田区に!」の実現目標の第一歩となりました。



ご参加頂いたみなさんから、ご感想と てらたまに対するお言葉を頂きました。

佐藤 美千代さん コミュニティガーデン「せせらぎ農園」主宰



1/7(日)、たもんじ交流農園の皆さまと一緒に隅田川七福神巡りに参加しました。ホスピタリティ溢れるたもんじの方々から解説いただきながら、墨田区の歴史や町並みを知る事ができ、牛嶋神社やリニューアルされた隅田公園に飾られた竹あかりの美しさに、墨田区が大好きになりましたよ～！お誘いいただきありがとうございました！

七福神巡りの途中で見学したスポーツ公園予定地。ここに昔ながらの御前裁畑を復活させて、唯一無二の都市公園に！というのが、農地がない墨田区のたもんじ交流農園の方々の夢だそうです。墨田区の寺島なすをはじめとした江戸東京野菜の展示的な畑も備えた世界に誇れる都市型農園。いつ災害が訪れるかわからない今こそ、身近な空き地や公園の一角に、高騰する石油や肥料に頼らず落葉や竹など身近な有機資材で作る畑を増やすことは、防災上とても大切なことだと思います。実現できるといいなあ！いや、たもんじのみなさんなら作るのも夢じゃない！多摩地域から応援しています😊

高木 新太郎さん 前てらたま協議会理事長



てらたま協議会としては、2020年から4年ぶりの開催だったのですが、38名という大勢の方にご参加頂きました。実に嬉しく思います。

多間寺から白鬚神社、白鬚神社から三田神社、だいたい半々くらいで、片っ方は七福神のうちの一つが、もう片っ方は七福神のうちの一つがあり、非常にアンバランスな並び方で、それがこの隅田川七福神の大きな特徴です。だから途中でスキップしてしまう人もいますが、今年一年じっくり、しっかり歩いていこうと思っています。

新保 奈穂美さん 兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科講師 兵庫県立淡路景観園芸学校 景観園芸専門員



お昼から夜までの七福神めぐり、宴会までのフルコースに参加させていただきました。てらたま協議会、そして地元の皆様のホスピタリティに圧倒され、長い歴史の上に成り立っているあたたかな生活に心を動かされました。締めくくりの牛嶋神社の竹あかりの美しさは、一日の思い出とともに忘れません。

御前裁畑の跡地も印象に残りました。御前裁畑復活の目論見は以前より伺っていたものの、実現したらパリにある欧州最大級の屋上農園に匹敵するような、かなりの世界的インパクトを生むだろうと、現地を実際に見て感じました。災害時の食料自給にも役立つはずで、防火壁になる目の前の白鬚団地との組み合わせもばっちりです。歴史を繋ぎ

ながら現代にも非常に有用なものになると思います。

歴史と人の可能性を強く感じながら墨田のことをより好きになり、大変な始まりであった新年のなかで明るい一日となりました。誠にありがとうございました。

鹿島田 和宏さん 墨田区役所 資源環境部長

てらたま協議会主催の隅田川七福神めぐりに初参加させていただきました。

コロナ禍もあり、4年振りの開催となったにも関わらず、大勢の参加があり、素晴らしい！その参加者のみなさんも、たもんじ交流農園の活動を通じて関わりのある方、またその関わりの方。おともだちのおともだちなど、お住いの場所も世代も職業も多種多様。懇親会での会話はつきることなく、楽しい時間があっという間に過ぎていきました～といった拡がりつつなごりは、ステキ！！地域での取り組みが続き、カオのみえるコミュニケーションが増え、笑える場面が多くありますように。

新年早々に、大きな災害がありました。多くのみなさんのところに「福」が届きますように。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました！！



多間寺



白鬚神社の寺島なす前



弘福寺



牛嶋神社の竹あかり



隅田公園



このシリーズは主に農園会員さん向けに「業務連絡」的なものを、記事と動画(YouTube)の両方で発信してまいります。今回はお二人の方に登場頂く二本立てで、いずれもYouTube 動画 URL は、こちらです。
<https://youtu.be/FOLws9GuS24>

菌ちゃん農法の魅力と始め方 (花田恵美代さん)



菌ちゃん農法の魅力、それは経済的、手間ひまかからない、そして地球環境に優しいということです。

私たち菌ちゃん農法を一年間やってみて、これだけでこんな立派な野菜がとれるんだという驚きを持って実感致しました。

準備するものとしては、大量の土、もみガラ、土の上に乗せる竹や、草木などで、それは全て農園にあるものを使ってください。始めるのはいつからでもよいのですが、私たちは農作業の少ない冬にスタートしました。一つ気を付けなければいけないのは、豆類・イモ類は、菌ちゃん畝には不向きだということです。詳しいことは、農園の一番右端の倉庫にテキストが置いてあるので、ご自由にご覧ください。わかりにくいことがあったら、お気軽にお声かけください。

始めて良かった菌ちゃん農法 (須貝利喜夫さん)

菌ちゃん農法が農園ライフに、新たな楽しみをもたらしてくれました。昨年夏の収穫に向け、小玉スイカとツルムラサキを育てましたが、どちらも上手に行きました。スイカは小玉の割には一回り大きくなり2個を収穫、甘さも程良く美味しかったです。ツルムラサキは、育ち過ぎではないかと言うくらいで畑の半分を埋め尽くし四方に広がりました。葉っぱが大きく肉厚で最高の夏野菜になりました。



これまで有機栽培で色々な種類の野菜を育てて来ましたが、失敗も多かったです。菌ちゃん農法は、害虫にも強いし収量も多くこの農園に合っており、始めて良かったと思います。なにせ「完全無農薬」な訳ですから。今年もチャレンジします。



第5回 たもんじ交流農園 フォトコンテスト募集(ないし撮影)のご案内

テーマ ①冬の〇〇 or ②今年もよろしくお願ひ致します(自己紹介写真~ご自分で撮って頂いたものか、日にちを決めて末林が撮らせて頂きます。(①の作品を頂いた場合でも、キャプションに②を掲載させて頂こうと思います)。〆切2/11(日)まで。今回は農園会員・てらたま会員・その他関係者とも各1枚とします。

1/21(日) 9:00 ~14:30	<ul style="list-style-type: none"> ■《ピオトープ ほたるのすみか》池底にベントナイト敷き込み 泥団子をつくり、並べて、しっかり叩き、防水層をつくる。井戸掘り続き。※練ったら一気にやらないといけないので人数必要です!多くの方のご協力をお願いしたいです。 ■2024 たもんじ交流農園のフル1区画とハーフ2区画の耕作者緊急募集抽選会(12時ごろ)
1/28(日) 9:00 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ここまでにはナチュラルガーデン・温室ともに良い感じになる? ■《ピオトープ ほたるのすみか》水入れして水が漏れないか試験します。結果を1週間待たつ。まだ井戸掘る?、パイプ割れ修理のため、井戸の周囲を約1m掘る
2/4(日)9:00 ~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■《ピオトープ ほたるのすみか》水漏れなしを確認したら整えて、水入れして生き物を返す!~あとは時期みて新たなほたるの幼虫を入れて羽化を待つ→ほたる観賞会

水口アドバイザーご指導日: 1/28(日) 2/25(日) 10:00~15:00 | 農園部作業日: 毎週日曜 9:00~



たもんじ交流農園便り
No.70 般 2024.1.18 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之



Home Page

てらたま協議会

(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

▲セブン-イレブン 記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)



Facebook